

地 拵 特 記 仕 様 書

作 業 種	作 業 仕 様	適 用 林 小 班 等
全刈地拵	植幅 5. 0 m程度 置幅 2. 0 m程度	3 8 ろ 1 3 8 は 4 2 は 7 4 2 に 1 2 0 2 れ 2 2 0 2 そ 1
	植幅 m以上 置幅 m以内	
	植幅 m以上 置幅 m以内	

(注) 寸法の単位は、m以下1位（10cm単位）とする。

【特記事項】

- 1 林地内の枝条は可能な限り、作業道や水の溜まりやすい窪地等、苗木の活着が見込めない箇所に配置・筋置きすることとし、現場での判断が困難な場合には、監督職員の指示または協議に基づき作業を行うこと。
- 2 本事業においてグラップル等の車両系木材伐出機械を使用する際には、安全対策を十分に行って作業すること。
- 3 本事業の作業工期等について調査を行う場合、時間観測等の調査に協力すること。

特記仕様書

(獣害防護柵（硬質ステンレス入りネット）設置）

(1) 作設位置

作設位置は、図面に表示してある箇所とする。ただし、地形、土壌条件等により設置が困難な場合は監督職員と協議すること。

(2) 構造等

別紙、獣害防護柵（硬質ステンレス入りネット）設置 特記仕様書の作設標準図及び材料表のとおり。

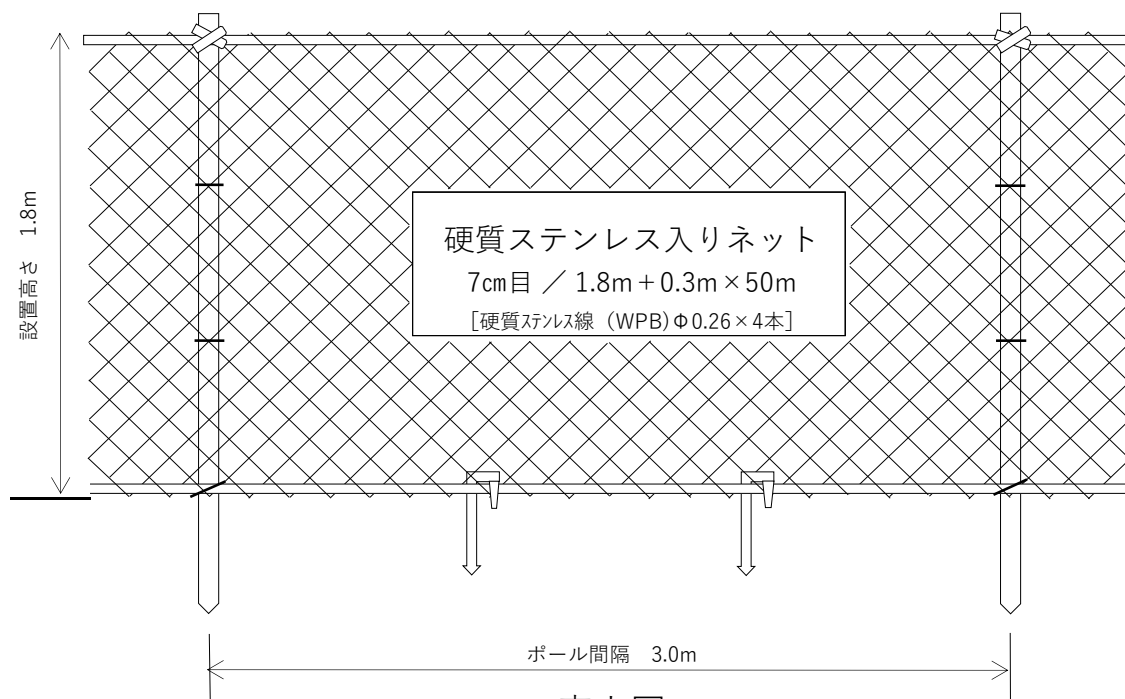
(3) 作業方法等

- ① 基礎支柱（打込用ポール）は地中に50cm以上埋め込み、支柱（ポール）を設置した際に簡単に抜けたり倒れたりしないようにしっかり固定する。
- ② 支柱設置間隔は3.0mを標準とし、地形や勾配に応じて、その間隔を調整することとする。
- ③ 張りロープはΦ8mm以上とし、シカ等がかかって暴れても切れない強度を有するものとする。
- ④ 押さえロープはΦ6mm以上、裾押さえロープはΦ4mm以上とし、接地部分を標準図のとおりアンカーで固定し、シカ等の潜り込みやネットのめくれを完全に防ぐこと。また、シカ等がかかって暴れても切れない強度を有するものとする。
- ⑤ ネットは網目7cmの、耐光性、耐疲労性、強度に優れたものを使用すること。また、標準図のとおり支柱1本につき3カ所結束する。
- ⑥ 張りロープ、押さえロープ及び裾押さえロープはネットの上下段の編み目に完全に通すこと。
- ⑦ 控え用ロープの設置間隔は1.5mを標準とする。
- ⑧ カーテン式門扉については支柱間1.0mを標準とする。
- ⑨ 門扉の作設位置は、図面に表示してある箇所とし、詳細な位置については、監督職員の指示を受けるものとする。
- ⑩ 柵のできあがり寸法は、高さ1.8mとする。

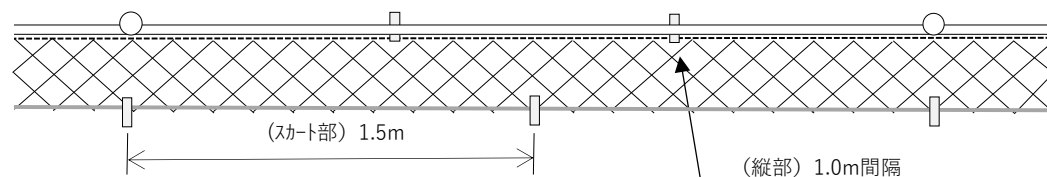
(4) その他

- ① この仕様書に定めのない事項については、監督職員の指示による。
- ② 資材を請負者が調達する場合は、使用する前に監督職員の確認検査を受けること。
- ③ 設置後、余分な資材が生じた場合には監督職員へ引き渡すこととする。
- ④ 設置した資材量（〇〇巻）もしくは余剰量（〇〇巻）を事業完了届（部分完了届）別紙の完了箇所一覧表の備考欄に記載すること。

正面图

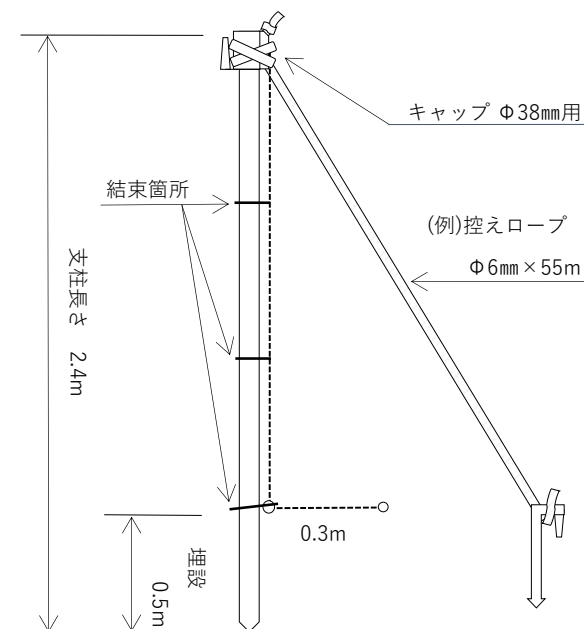


真上^四



品名	仕様・規格	製品単体重量	100m当たり
ネット	硬質ステンレス線(WPB)入りポリネット 1.8m+0.3m×50m (7cm目)	14.50kg/反	2.1反
	上部0.6m (黒) 下部1.2m (青) 裾部0.3m (緑) / 強化部 WPBφ0.26×4本		
張り用ロープ・ 押さえ用ロープ	強化糸入りPEロープ ㊤φ8mm㊦φ6mm / スカート部 PEロープ φ4mm・各55m		
控え用ロープ	PEロープ φ6mm×55m / 青 / 7ヶ所設置	1.00kg/巻	1巻
支柱	FRP製 / φ38mm×2.4m / ABS被覆	1.20kg/本	34本
吊りキャップ	ジョイント式キャップ / ABS製 / φ38mm用	0.05kg/個	34個
杭	アンカーピン / 44cm / 鉄製 (ネット134本・控え7本)	0.30kg/本	141本
結束	ステンレスカット線 / #19×0.2m/本 / 410本束	0.5kg/束	0.25束

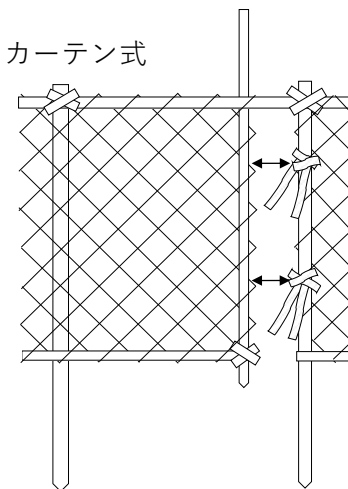
補強部 (例)



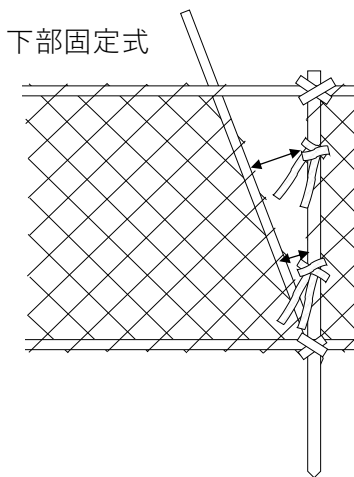
開口部 (例)

※監督職員の指示に従い、どちらかを選択する
 ←→ 開閉部・・・支柱と扉は2箇所以上で固定する

カーテン式



下部固定式

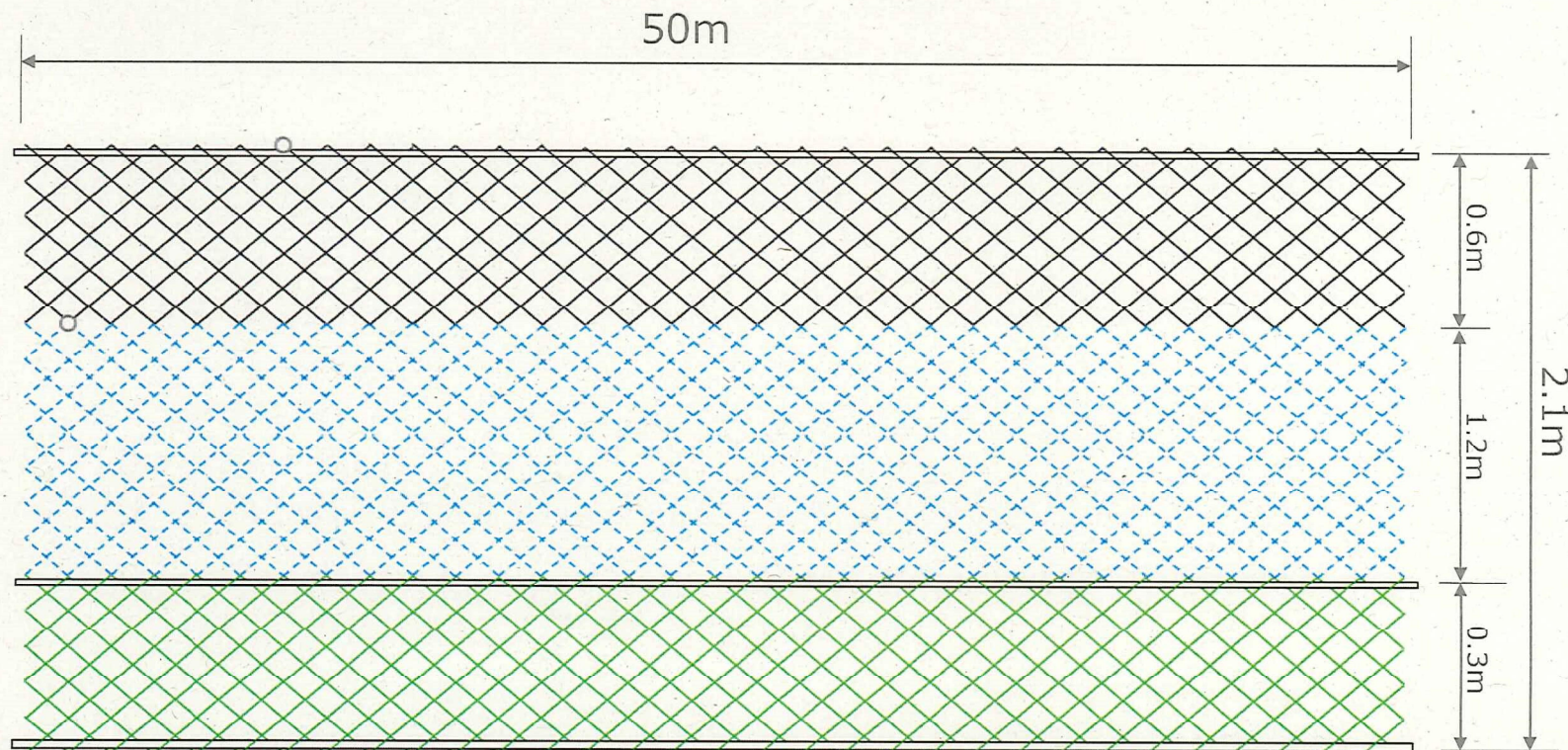
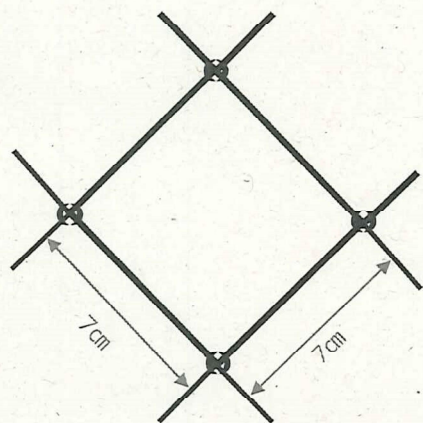


硬質ステンレス入りポリネット 1.8m+0.3m×50m (7cm目)

- ◆上部 0.6m ポリエチレン 400d×40本/黒
- ◆強化部 1.2m SUS304 (WPB)Φ0.26×4本/青
- ◆スカート部 0.3m SUS304 (WPB)Φ0.19×4本/緑
- ◆張り・押さえ用ロープ(強化系入りPE)8mm・6mm×55m
- ◆スカート用ロープ(PE)4mm×55m

14.5kg

二重交差式



特記仕様書

(獣害防護柵（金属柵）設置)

(1) 作設位置

作設位置は、図面中表示してある箇所とする。ただし、地形、土壌条件等により設置が困難な場合は監督職員と協議すること。

(2) 構造等

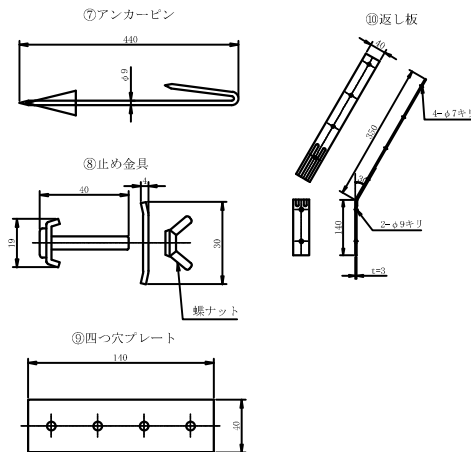
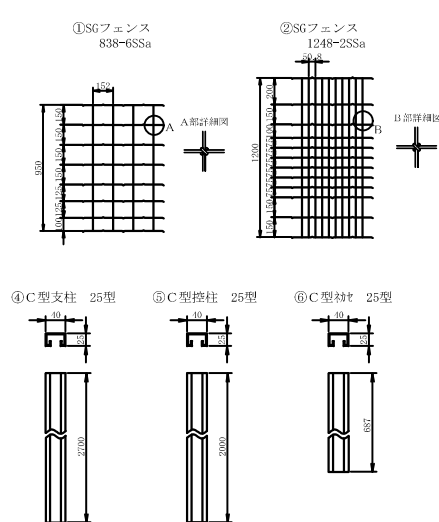
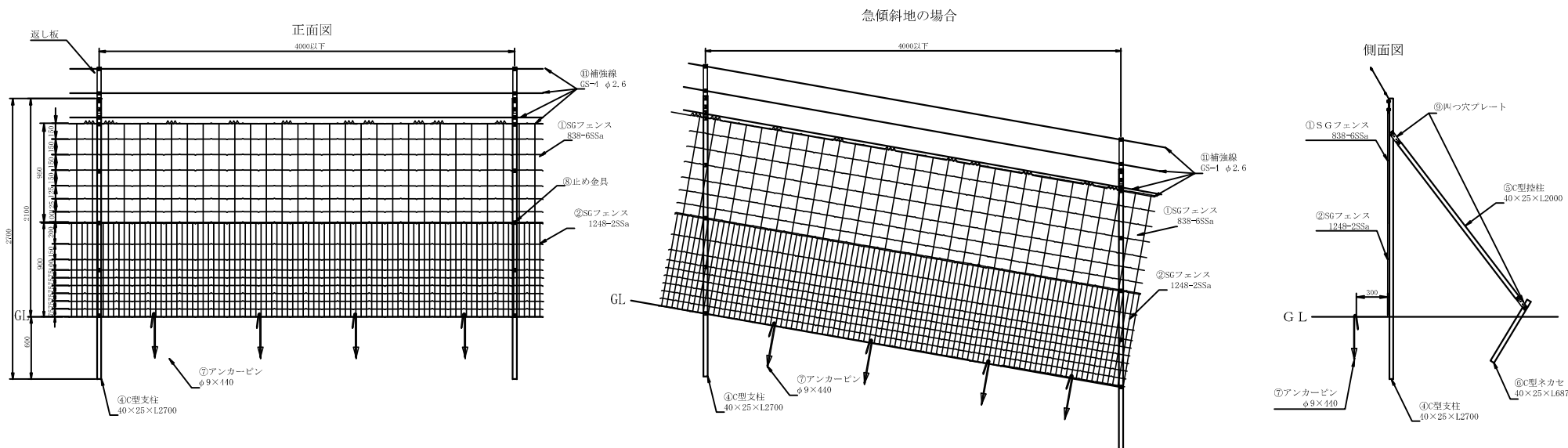
別紙、獣害防護柵（金属柵）設置 特記仕様書の作設標準図及び材料表のとおり。

(3) 作業方法等

- ① 2.7m支柱の地中への打ち込みは60cmとし、倒れないようにしっかりと地面に固定する。
- ② 支柱設置間隔は4.0mを標準とする。
- ③ 1.2m間隔を基準に控支柱を柵の外側または内側張り、柵を安定させる。
また変化点にも控支柱を張る。
- ④ 1.2mの下段用フェンスと地際の接点は、フェンスが浮き上がらないよう地面に密着させ、外側に0.3m折り曲げ、アンカーピンを1m間隔で使用して固定する。
- ⑤ 金網上端部に張線し、上端部の補強をする。
- ⑥ 支柱上端部には返し板を止め金具で取り付け、標準図のとおり補強線を張る。
- ⑦ 出入口については、1m幅の扉止め金具門扉を図面中表示してある箇所に設置する。
- ⑧ 柵のできあがり寸法は、地際から上段用フェンスまでを1.85mとし、2.7m支柱までを2.1mとする。

(4) その他

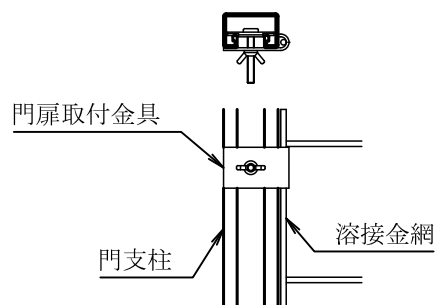
- ① この仕様書に定めのない事項については、監督職員の指示による。
- ② 資材を請負者が調達する場合は、使用する前に監督職員の確認検査を受けること。
- ③ 設置後、余分な資材が生じた場合には監督職員へ引き渡すこととする。
- ④ 設置した資材量（〇〇巻）もしくは余剰量（〇〇巻）を事業完了届（部分完了届）別紙の完了箇所一覧表の備考欄に記載すること。



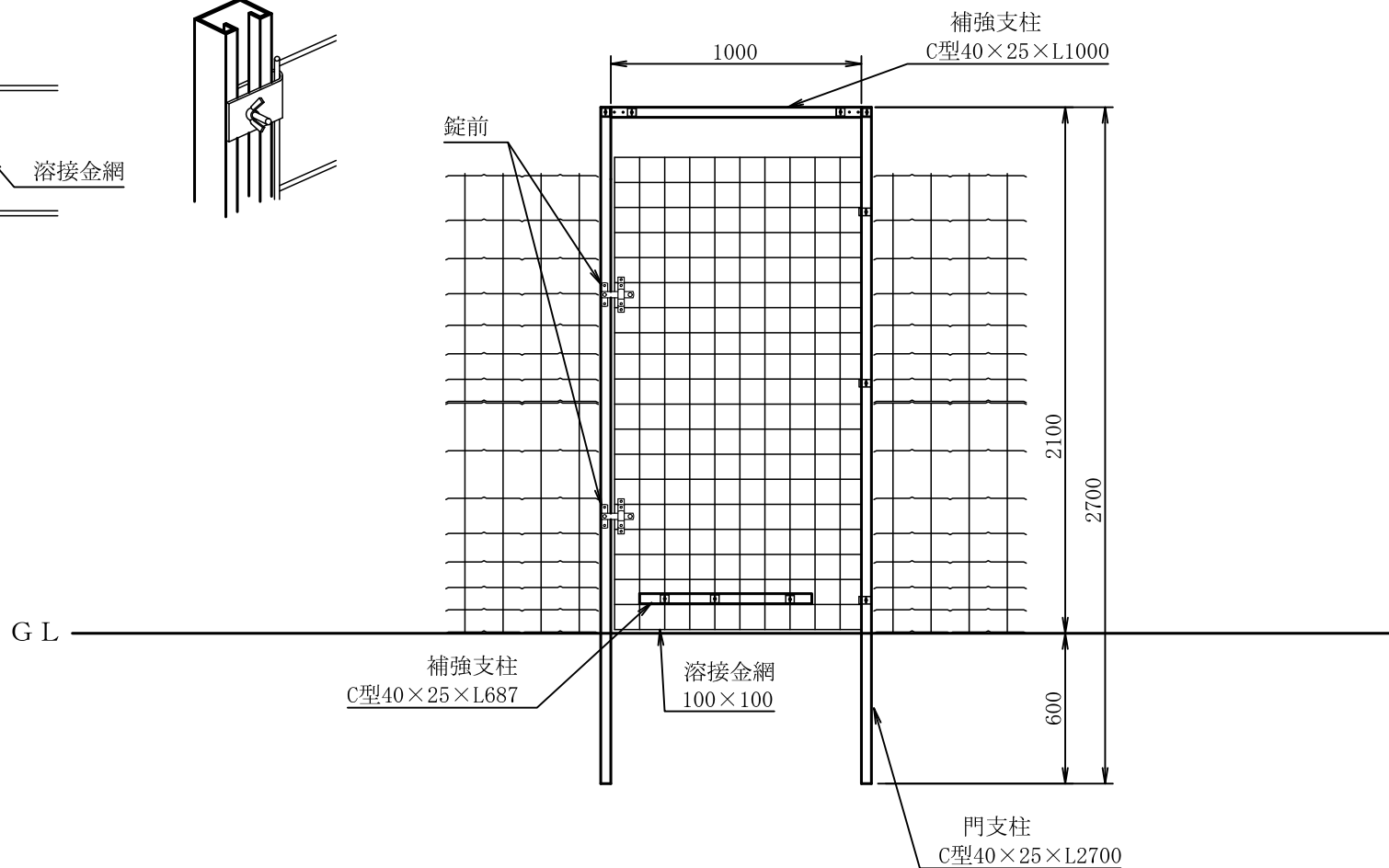
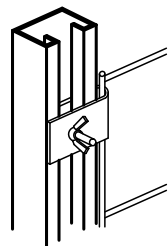
品番	品名	規格・寸法	材 料	重量
①	SGクロスフェンス 838-6SSa	高さ:950mm 長さ:25m/巻 重量:9.8kg	JIS G3547 SWMGS-4 横最上線・横最下線・縦線径 φ2.0mm 横中間線径 φ2.0mm	
②	SGクロスフェンス 1248-2SSa	高さ:1200mm 長さ:25m/巻 重量:27.2kg	横最上下線:JIS G3548 SWMGS-4 φ2.5mm 横中間線:JIS G3548 SWMGS-4 φ2.0mm 縦線: JIS G3548 SWMGS-4 φ2.0mm	
④	C型支柱 25型	長さ:2700mm	JIS G3131 SPHC t1.4 亜鉛めっき	3.8kg
⑤	C型控柱 25型	長さ:2000mm	JIS G3131 SPHC t1.4 亜鉛めっき	2.8kg
⑥	C型ネカセ 25型	長さ:687mm	JIS G3131 SPHC t1.4 亜鉛めっき	0.9kg
⑦	アンカーピン	左図寸法	JIS G3532 SWM-B 亜鉛めっき	0.24kg
⑧	止め金具	左図寸法	亜鉛めっき	0.03kg
⑨	四つ穴プレート	左図寸法	亜鉛めっき	0.14kg
⑩	返し板	左図寸法	溶融亜鉛めっき	0.4kg
⑪	補強線	GS-4、2.6mm	素材 JIS G3505 亜鉛めっき鉄線 JIS G3547	0.05kg

名称					
製図	日付		訂正		
縮尺	検図	承認			
		図番			

A部詳細図



立体図



名称		1m門扉			
製図		日付			訂正
縮尺		検図	承認		
					図番